

岸田さんって窮地？

自民党の裏金事件に国民は怒り、名ばかりの改革案にもあきれています。

これが半年も続き、不信が無関心になれば、岸田さんは有難い。重要法案、増税法案次々成立させて低い支持率なんのその。地方選挙全敗しても平気、平気。ガス抜きが出来て好都合。

総選挙で野党が東になっても十分勝てる。そうなれば岸田続投間違いなし。ほくそ笑んでいる岸田さんが居るような気がします。

吾妻町 西田良平



裏金政治 No.1

楽しく読んでいます！

赤旗日曜版の連載「ずくなし半左 なんとならず」を楽しんで読んでいます。

作者は大町市在住の吉橋通夫氏。物語の中心は松本藩からこの近辺。時代物だし、地の言葉も多くわからない事も多い。「なんとならず」とはなんだ？と疑問も感じた時は、友人に聞いたりしています。お奉行様からの特命を受けて、池田の寺子屋に入る場面は興味を誘います。

池田は宿場町で旅籠も多く、荷物を取り扱う問屋も多いとある。池田町散策の時聞いていたので納得。

池田学問所の話も出て来るので、続きが待ち遠しいです。

滝沢 村端 徳子

新型コロナは終息したのか！

日々のニュースから新型コロナウィルスの情報が絶えず久しいです。しかし今も感染は収まらず、後遺症に悩む人も少なくありません。

未知のウイルスと人類との格闘は、今後も続くでしょう。人間が自然環境におよぼしてきた負の影響。コロナパンデミックを経験した私たちは、地球の健康、動物の健康、人間の健康を一つのこととして考えなければならぬ時代を迎えています。

ウイルスの感染拡大は基礎研究の大切さも痛感させました。真理の探究や新たな知の発見は科学の発展や人類の未来につながることを期待します。

3丁目 山本久子

本の紹介

あきない世傳 金と銀

作・高田郁（ハルキ文庫）

時は江戸時代享保期、貧しいながら私塾の主事者である父親から学問の楽しさを学ぶ利発な子「幸」「知恵は力になる、知恵を絞れば、無駄な争いをせずに、道を拓ける」と教えられる。

9歳の時父と私塾の跡取りと目されていた兄が相次いで亡くなり「幸」は大阪のご呉服商「五鈴屋」に奉公することになる。物語はこの少女がその才を発揮し多くの理解者にも支えられながら一生「鍋の底を洗いつける運命」といわれた下働きで女衆から女店主にまで上り詰めていく痛快な物語だ。

単なるサスペンシブ的な要素と、幾多の困難と闘いながらそれを乗り越えてゆく中心に据わる矜持がいい。「蟻の目と、鶯（みさご）の目」をもつこと、目先だけ見ていてはその時だけの結果だけにこだわってしまふ。空の上を飛んでいる鶯の

目だけでも、将来は展望できても身近な現状を見落とすことがある。「買って幸い、売っての幸せ」という言葉も幾度か登場する。現在の政治、経済の在り方と比較してストンと胸に落ちる。

奉公人と力をあわせ、みんな知恵を出し合って困難を乗り越えるのもうれしくてあつという間に13巻を読破した。

(3丁目 山本伸一)



読者のページでは皆さんのご意見、本の感想、行政への要望などの投稿をお待ちしております。

最近「近くなら配達に協力しますよ。」と言って下さる方が現れ助かっています。

役員も年々高齢になり、いつまで続くか不安ですが、ニュースの発行継続にご協力いただけたら幸いです。

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
山本 久子 (61-1066)
編集責任者

271号

2024年5月号

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

憲法施行77年

闘い受け継ぎ空洞化許さない

「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」―放映中のNHK連続テレビ小説「虎に翼」は、主人公が新聞に載った新憲法第14条を食い入るように読む場面から始まりました。

女性には弁護士になる資格がなかった時代に、やがて法改正されるのを信じて勉強し弁護士になった実在の女性がモデルです。

戦前、女性は結婚後は法的無能力者とされ、参政権がなく政党に入ることも法で禁じられていました。いま当たり前のものとして享受している権利が、かつてはそうではなかったこと、先達の闘いの末に勝ち取られてきたことを思い出します。



文芸欄 今月は俳句です

筍を食べ尽くしてや満たさるる
雪形の爺さん日増しに太りゆく
田水入り北アルプスの郷光る

美ちこ
由美
幸代

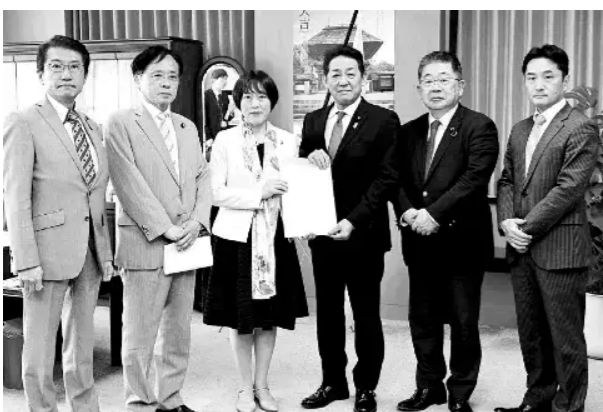


憲法第9条は、我が国が戦争を放棄する、あるいは原則的に我が国を防衛するための必要最小限度の自衛権を行使するということ以外のいわゆる武力行使、武力による威嚇というものを我が国は放棄する、我が国の行為によってそうすることを放棄するということです。生命、自由、幸福追求に対する国民の権利を国政で最大に尊重すべきだとする憲法13

生活再建に希望もてる対策を

日本共産党国会議員団の能登半島地震対策本部は5月15日、被災者支援に関する要請を内閣府に申し入れました。

田村智子委員長（本部長）は「4カ月半たつが、被災地の光景が地震直後と変わっていない。被災者が、がんばっていくと言えるかどうか揺らぎはじめています」と強調し、被災者の生活再建の現実を踏まえた柔軟できめ細かな対策を講じていくことを求めました。



共産党国会議員団被災者支援申し入れ

コラム 有明

暑くなり毎日のように「こまめに水分補給を」との声がきかれる▼大人は1日2500mlの水分が必要で、食事以外に1000〜1500mlは欲しい。汗をかくスポーツや野外での仕事時はスポーツドリンクなども良いが、室内での生活や汗をかかない場合は水や麦茶が良いと聞く▼コーヒーやビールは利尿作用があり水分補給にはならない。最近気になるのは炭酸飲料のジュース類が増えていることだ。カロリーゼロと表示され、太らないから安心だと飲む人も増えている。人工甘味料が使用されているため体内では異物となり、量が増せば発がん性の問題も報告されている。毎日の飲用は控えたほうが良いとのこと。疲れてくると甘いものが食べたくなるが人工甘味料は脳に活力をあたえてくれない▼脳にはやはり自然の砂糖から変化するブドウ糖が効果抜群。これから猛暑の夏がやってくる。水道水や地下水がおいしく飲める環境を大事にしたいと思う。